

# 平成25年7月21日執行 参議院福島県選出議員選挙選挙公報

## 福島県選挙管理委員会

### あとで「しまった!!」と気がついていても遅いのです!



財政再建党  
かずしげ  
**杉内一成**

昨年の八月に成り立った消費税率5%アップの法律をぶっ潰す為、立ち上がりました。既成の大政変自民・民主・公明党は選挙で法律を通した。大政変が通ると法律を通した。やむを得ず無党の私が立ち上がる以外になかった。皆様方の怒りを私が代表して中央選挙区にぶっつける。今立ち上がり、国民全員が通じたことになり、後で「しまった」と気がついていても遅いのです。今更事立てておかない。

三月三十一日の朝日新聞は「大和総研の試算では、年収百万円超の四大家族で消費税率が10%になった時、約17万4千円増で負担増になる」と報じています。私は只反対しているではありません。敗戦後の七十年間に法人税減税等で企業の内部留保金が利益剰余金何と四六八兆円10年度、財務省法人企業統計にもあったのです。その証拠に昨年六月四日の日本経済新聞では、上場企業の半数が無償増資と報じています。国内需要が上がり、輸出も円高で工場が海外移転が多く、国内での資金需要が少ないからです。これに課税して日本の国家財政の再建をします。何もしていないと海外のヘッジファンドから狙われ、欧州で吹き荒れるような日本の国債に對する風が吹き荒れた時には、消費税率アップでは対応出来ず、この企業の内部留保に課税する以外に無く、遅かれ早かれ課税の対象になるのですから、もう一つ、基礎的財政収支プライマリバランスをゼロにするには、政府の試算でも後六パーセントのアップが必要で例えそうしても国民に押し付け、長期国債償還高は約一千兆円を超過して、どうやって返せるのか、行き着く先は国債を返している銀行等がバタバタと倒産して、ハイパーインフレとなり、国民生活は奈落の底に落とされ、今更事立てておかないと通らなくて国民に負担を押し付けては困ります。

#### 次に、自民党政権の三大問題点

(自民党公認の候補者には投票すべきではない)を列記します

- 第一に** 安倍政権は、福島県民の声を聞いて、福島第二電力発電所の再稼働を目標として、福島県民に、一年間の放射能事故を受け、全県子孫の健康を決定しています。五月三十一日の朝日新聞は「福島県に放射能汚染を再稼働の推進」と報じています。決して許せません。私が原発を容認出来ないのは、使用済み核燃料を地中深く埋めて管理する向と十万人も管理しなければならぬ自治体が一、二無く手を挙げた所が無い理由は日本国中地帯を放射能汚染する危険が数多くあり、当然の帰結です。ということは、現在の技術では放射能を安全に管理する技術が確立していません。現に事故を起こした原発の中心の中がどうなっているか解明すら出来ていないのです。コストのみを顧み、安全を犠牲にしている放射能汚染や放射能の汚染の汚染は、一度福島のような過酷な事故が起これば人間が住める所は皆無になります。安全第一を考えた政策的に原発を全面廃止すべきです。私はこの問題を国民が参加する住民投票に掛けるべきだと主張します。
- 第二に** TPP参加に反対 TPPは、例えある期間コストを削減して置いても、いづれは関税ゼロ化は避けられず、その解決策として、併せて農業を公的法人に組織化して大規模な生産を推進して、欧州の先進国で日本より増産して発表しています。多分失敗するでしょう。欧州の先進国で日本より食糧自給率が四のパーセントを割り込んでいる国はありません。五月二十日の朝日新聞は「韓国は、FTAで対米工業製品の関税引き下げの見返りに、農産物の関税を下げたが、農家は大幅に損を蒙っている」と報じています。
- 第三に** 憲法改正問題自民党の対応に、私は反対 自民党は憲法九十六条の改正が入るようになり、邪道です。憲法は、権力者が常に権力を握る危険があり、憲法で権力を抑えるというのが立憲主義なので、憲法を変えるには、法律よりも厳格な手続きが必要なのです。追記になりますが、アベノミクスの結末の予想 一番大事なのはリーマンの崩壊がなければ、予言される結末は失敗です。三月三十一日の朝日新聞のような記事が載っていました。「国税庁の調査では、民間の平均年収は01年に四十四万四千円、11年には四十四万四千九百円になった。景気が上向いても企業は一時的にボーナスを増やすだけで、簡単に給料を上げない。消費税率アップによる約十七万円の負担増を補う努力が私に課せられ、そのための行動をするべきです。」

**略歴**  
3年 1月7日生まれ、神奈川県出身。  
4年 東北大学法学部卒業。  
5年 東北大学法学部卒業。  
6年 東北大学法学部卒業。  
7年 東北大学法学部卒業。  
8年 東北大学法学部卒業。  
9年 東北大学法学部卒業。  
10年 東北大学法学部卒業。  
11年 東北大学法学部卒業。  
12年 東北大学法学部卒業。  
13年 東北大学法学部卒業。  
14年 東北大学法学部卒業。  
15年 東北大学法学部卒業。  
16年 東北大学法学部卒業。  
17年 東北大学法学部卒業。  
18年 東北大学法学部卒業。  
19年 東北大学法学部卒業。  
20年 東北大学法学部卒業。  
21年 東北大学法学部卒業。  
22年 東北大学法学部卒業。  
23年 東北大学法学部卒業。  
24年 東北大学法学部卒業。  
25年 東北大学法学部卒業。  
26年 東北大学法学部卒業。  
27年 東北大学法学部卒業。  
28年 東北大学法学部卒業。  
29年 東北大学法学部卒業。  
30年 東北大学法学部卒業。  
31年 東北大学法学部卒業。  
32年 東北大学法学部卒業。  
33年 東北大学法学部卒業。  
34年 東北大学法学部卒業。  
35年 東北大学法学部卒業。  
36年 東北大学法学部卒業。  
37年 東北大学法学部卒業。  
38年 東北大学法学部卒業。  
39年 東北大学法学部卒業。  
40年 東北大学法学部卒業。  
41年 東北大学法学部卒業。  
42年 東北大学法学部卒業。  
43年 東北大学法学部卒業。  
44年 東北大学法学部卒業。  
45年 東北大学法学部卒業。  
46年 東北大学法学部卒業。  
47年 東北大学法学部卒業。  
48年 東北大学法学部卒業。  
49年 東北大学法学部卒業。  
50年 東北大学法学部卒業。  
51年 東北大学法学部卒業。  
52年 東北大学法学部卒業。  
53年 東北大学法学部卒業。  
54年 東北大学法学部卒業。  
55年 東北大学法学部卒業。  
56年 東北大学法学部卒業。  
57年 東北大学法学部卒業。  
58年 東北大学法学部卒業。  
59年 東北大学法学部卒業。  
60年 東北大学法学部卒業。  
61年 東北大学法学部卒業。  
62年 東北大学法学部卒業。  
63年 東北大学法学部卒業。  
64年 東北大学法学部卒業。  
65年 東北大学法学部卒業。  
66年 東北大学法学部卒業。  
67年 東北大学法学部卒業。  
68年 東北大学法学部卒業。  
69年 東北大学法学部卒業。  
70年 東北大学法学部卒業。  
71年 東北大学法学部卒業。  
72年 東北大学法学部卒業。  
73年 東北大学法学部卒業。  
74年 東北大学法学部卒業。  
75年 東北大学法学部卒業。  
76年 東北大学法学部卒業。  
77年 東北大学法学部卒業。  
78年 東北大学法学部卒業。  
79年 東北大学法学部卒業。  
80年 東北大学法学部卒業。  
81年 東北大学法学部卒業。  
82年 東北大学法学部卒業。  
83年 東北大学法学部卒業。  
84年 東北大学法学部卒業。  
85年 東北大学法学部卒業。  
86年 東北大学法学部卒業。  
87年 東北大学法学部卒業。  
88年 東北大学法学部卒業。  
89年 東北大学法学部卒業。  
90年 東北大学法学部卒業。  
91年 東北大学法学部卒業。  
92年 東北大学法学部卒業。  
93年 東北大学法学部卒業。  
94年 東北大学法学部卒業。  
95年 東北大学法学部卒業。  
96年 東北大学法学部卒業。  
97年 東北大学法学部卒業。  
98年 東北大学法学部卒業。  
99年 東北大学法学部卒業。  
100年 東北大学法学部卒業。

インターネットのホームページでこの問題を取り上げていますので見て下さい。特に若い世代の方には見て頂きたいです。この問題を取って適切な対応を求めたいです。  
<http://www.zaisei-saiken.com>

### 再稼働を許さず即時原発ゼロ、復興の足を引っさる増税・TPPは中止に、憲法を守り生かす外交へ...

### いわぶち友なら県民の願いを、そのまま国政に届けられます



日本共産党  
とも  
**いわぶち友**  
36歳  
喜多方市出身、福島市在住  
福島大学行政社会学部卒業

連続する暴言は偶然ではありません  
福島県民を切り捨てる  
原発推進勢力と、  
徹底してたたかいます!

福島県民に対する復興庁幹部や自民政調会長の暴言が連続したのは偶然ではありません。「原発事故収束宣言」で福島県の被害を小さく見せて、原発再稼働と輸出へ暴走するなかで起こったことです。安倍政権は「世界最高の技術」と言いますが、それなら第一原発の事故を収束させることが先ではないでしょうか。

安倍政権の暴走と真正面から対決!  
国民中心の政治へ変える  
対案を持っています

原発再稼働・輸出、被災地の足を引っさる増税やTPP、雇用破壊、憲法改悪：日本共産党は安倍政権の暴走に真正面から対案を示しています。(詳しくは日本共産党のホームページをご覧ください) 東京都議選では安倍政権への対決軸として日本共産党が躍進しました。

◆「収束宣言」を撤回させて福島県民の願いを届ける、原発再稼働を止め即時原発ゼロへ、  
◆国が責任を持ち、事故の収束、県内10基廃炉、完全賠償、除染を進めます。  
◆投機とパブドゥーではなく、国民のふところを直接あたためて实体经济を回復させます。  
◆復興の足を引っさるTPP交渉参加と消費税増税を撤回させます。  
◆憲法改悪と戦争する国づくりをストップさせ、道義をもって発言し、国際社会で通用する外交をめざします。  
◆原発マネーを受け取らない党だから  
◆国と東京電力にハッキリものを言えます

インターネットもご覧ください  
ブログ、ツイッター、フェイスブックなどもご覧ください。左のQRコードを使うか「いわぶち友」で検索して下さい。

比例代表は  
**日本共産党**  
と書きかえよう

# 酒井秀光

国防強化!  
消費増税中止!  
生涯現役社会!

3つの挑戦で、福島県をもっと元気にします。

- 愛しているなら国を守ろう
- 消費増税中止で、もっと強い経済へ
- 老後もイキイキ! 生涯現役社会

略称: 幸福

# 幸福

とお書きください

福島県は特区で復興免税!

幸福実現党 公式サイト <http://www.hr-party.jp/>  
酒井秀光 公式ブログ <http://sakai-hidemitsu.net/>



幸福実現党  
さかい ひでみつ  
**酒井秀光**

子どもを守る。愛するふるさとを守る!!

三児の母として!

子どもたちを守りぬき、輝ける未来に送り出す決意です。

福島県初の女性大臣  
少子化大臣として実現!

- 復興の加速化!
- 避難者の生活再建とふるさと再生
- 風評被害の払拭! 風化の防止!
- 子どもたちの「この国の未来のため」

自由民主党公認  
**森まさこ**  
48歳

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。



# 平成25年7月21日執行 参議院福島県選出議員選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

## 平和憲法を守り、原発のない福島を

### えんどう 陽子

プロフィール

- ▼ 1950年生まれ、現在は富岡町の自宅から避難生活
- ▼ 1973年、東京音楽大を卒業し、公立中の教員となり、天栄中、葛尾中、川部中、双葉中、大熊中、富岡中などに勤務
- ▼ その間、「双葉郡の医療を良くする会」の代表を務める
- ▼ 社民党では、常任幹事のほかに、原発災害・教育・医療対策委員長を務める
- ▼ 趣味は、ボランティアや演奏活動
- ▼ 家族は、夫、長男、義母、父親の5人

- 政策
- だれにも負けません、脱原発と全基廃炉への思い。
  - 憲法改悪を許さず、平和・人権・暮らしを守ります。
  - 医療や福祉・介護を大切に政治を取りもどします。
  - 農業と国民生活をこわすTPPに真っ向から反対します。
  - 労働法制の規制緩和に反対し、雇用を守ります。
  - 教員経験を活かし、真に子どものための教育をつくります。
  - 避難者が、どこに住んでも生活再建できる賠償や仕組みを求めています。

全国的なテレビや新聞は、原発事故をほとんど取り上げなくなりました。福島は、福島のみならず、放射能問題でまだまだ苦しんでいるのに、事故は風化し忘れ去られようとしています。いま、避難生活を強いられる「えんどう陽子」さんが国会に選ばれれば、大きなニュースとなり、脱原発や賠償問題、除染や甲状腺検査などの政策を前進させる大きな力になります。長年の教員生活から「子どもたちを守りたい」という強い思いで立ち上がった「えんどう」さんに福島県皆さんの「大切に、特別な一票」を託してください。



社民党公認  
えんどう 陽子

大切に「特別な」一票を  
福島みずほ

## 福島県の復興・再生に全力!

### かねこ恵美プロフィール

- 【略歴】
- 昭和40年 伊達市(旧伊達郡保原町)生まれ
  - 福島女子高(現橘高校)卒
  - 法政大卒
  - カリフォルニア州立大学大学院修士課程修了(社会福祉修士)
  - 福島大学大学院教育学研究科修士課程修了
  - 平成9年～ 福島介護福祉専門学校講師
  - 保原町議会議員、伊達市議会議員を経て、平成19年参議院議員に初当選
  - 平成24年 内閣府大臣政務官、復興大臣政務官
- 【役職】
- 参議院農林水産委員会委員
  - 東日本大震災復興特別委員会委員
  - 政治倫理審査会委員
  - 民主党福島県連副代表(民主党副幹事長、民主党政策調査会副会長、農林水産委員会・消費者問題に関する特別委員会・東日本大震災復興特別委員会・共生社会地域活性化に関する調査会各理事等を歴任)

- ◆ **福祉の充実に取り組みます。**  
○ 社会保険の財源を確保し、高齢者や障がい者など生活弱者の支援策を充実させます。  
○ 公的年金制度の一元化、最低保障年金の創設などの年金改革をめざします。
- ◆ **子育てをしやすい環境への取り組みます。**  
○ 福島の子どもの健康調査の強化、医療費無料化の継続など、心身のケアを長期的・継続的に行います。  
○ 子ども・子育て支援予算を増額し、新児手当とあわせ、育児・仕事両立支援を充実させます。
- ◆ **産業の再生と雇用の確保に取り組みます。**  
○ 税制、立地支援、規制の見直しなどにより、企業が活動しやすい環境を整備します。  
○ 非正規やパート労働者の均等処遇を推進し、「解雇の金銭解決制度」の導入を阻止します。
- ◆ **農林水産業の振興に取り組みます。**  
○ 戸別所得補償制度の安定化をめざし法制化を図ります。  
○ 福島県の農林水産業への支援を、あらゆる政策資源を投入し加速化します。
- ◆ **福島県の復興を加速させます。**  
○ 徹底した除染の推進、経済被害や風評被害に対する速やかな賠償をめざします。  
○ 復興財源を確保し、民間活力を活性化して雇用を拡大し、被災者の生活再建・安定化を進めます。

私の決意

私の政治の目標は、高齢者や障がい者など弱い立場にある人々が安心して暮らせる国をつくることです。これからの国民が安心して暮らせるために、年金の抜本改革をはじめ、社会保障制度の改革を進め、国民の信頼に答えていきます。現政権は、経済最優先の政権運営が目立ち、社会保障改革を進める意欲が感じられません。私は雇用と福祉を最優先する政治を確立し、持続力ある経済の再生を果たし、未来を担う子どもたちを安心して育てることができると信じています。福島県は震災後、多くの課題を抱えました。原発事故による賠償と除染に向けた取り組みをさらに前進させ、福島県の復興と再生に全力を尽くします。安心や幸福を実感できる社会の実現を目指し頑張ります。



民主党公認  
かねこ恵美  
48才

# 第23回参議院議員通常選挙

期日前投票  
不在者投票

7月 5日 (金) ~  
7月20日 (土)

投票できる場所・時間は、お住まいの市町村の選挙管理委員会へお問い合わせください。

投票日  
**7月21日**



インターネット選挙運動が出来るようになりました。詳しくは→ [福島県選管](#) [検索](#)  
(有権者が電子メールで選挙運動を行うこと及び未成年者の選挙運動は、禁止されています。)

**福島県選挙管理委員会・福島県明るい選挙推進協議会**



この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。